

## 事業部報告～第1回女性医師・研究者のための懇親会 報告～

2023年9月3日（日）、第1回女性医師・研究者のための懇親会が開催されました。現在まで過去3回開催された若手自女性医師学術奨励賞にご応募いただいた先生方にお声かけさせていただき、19名の先生方がご参加されました。

本懇親会は日本医師会女性医師支援センター、愛知県医師会の協賛により開催され、来年以降も継続の予定です。

当日行いましたアンケート結果とご意見についてご報告申し上げます。

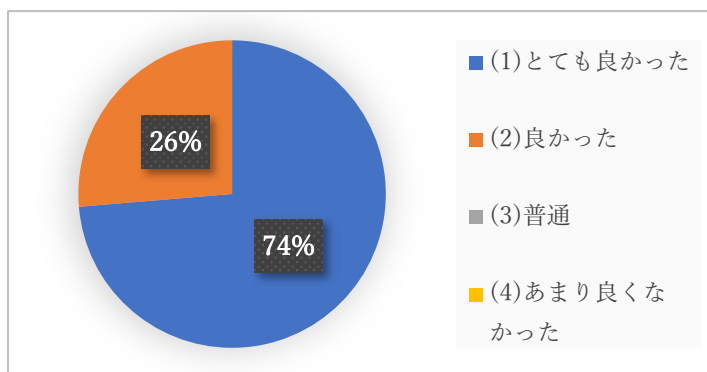
### 1. 年齢

20代 2名、30代 4名、40代 3名、50代 5名、60代 3名、70代 2名

### 2. 勤務体系

開業 5名、勤務医 8名、病院管理者 1、教授 2、准教授 0、講師 1、専修医 1、研修医 1

### 2. 参加された感想



・ふだん知りあえない地域・年齢、科もちがう女性医師といろいろ話げできた
・多くの女性医師の先生とお話できて楽しかったです。
・研究と臨床を両立するのがつらくてあきらめようと思うことも多かったです。先輩方の話をきけてがんばろうとおもえました。
・色々な人の話を聞けてよかった
・若手女性医師の参加が多かった
・同じテーブルの先生からたくさんお話を聞けて楽しかったです。
・診療科や大学等の壁を越えて意見交換できた
・色々な方のお話がきけて良かったです。
・様々な年代の先輩医師の話をきけてよかったから。
・違う科の先生方とお話しすることができ、視野が広がった。
・他科の先生方とのつながりをもてるのがとても良い機会だと思いました。

3. 参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか。

1) 意識が上がった (72%) 2) 少し上がった (17%) 変わらなかった (11%)

- ・若い女性医師が研究や子育てでがんばっている
- ・モチベーションが上がりました
- ・正直よくまだわかりませんが、世の中にはたくさんの女医さんがいることがわかってうれしかったです。
- ・モチベーションが上がりました。
- ・男女問わず働きやすい環境を整えることが働き方改革に重要
- ・もともとの認識と差がなかったから。
- ・先輩医師の先生方のお話をおききすることができた。
- ・子育てと両立されている先生方が沢山いて大変

4. 今後もこのような活動は必要だと思いますか？

1) 必要である (100%)

- ・エネルギーがもらえる
- ・またぜひ参加したいです
- ・この様な交流の場はあったほうが良いと思います。
- ・孤立しがちな医師の交流の場として大変良い。
- ・情報交換の機会として必要と思いました。
- ・女性医師の活躍は今後ますます必要だから
- ・病院・科をこえてのお話がおもしろいから。

今後も愛知女性医師の会として、若手女性医師学術奨励賞の継続と応募者に対する積極的な呼びかけが必要と思われました。(文責 佐々木ひと美)